

展覧会

県美プレミアムⅡ

7月2日(土)～11月6日(日)

小企画

美術の中のかたち 一手で見る造形

つなぐ×つむむ×つかむ: 無視覚流鑑賞の極意

特集 時間をひらく 一新収蔵品を中心に



やなぎみわ《案内嬢の部屋B1》1997年

当館の恒例企画「美術の中のかたち一手で見る造形」展。27回目となる今年は、全盲の文化人類学者広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館准教授)の声による導きで、当館の館蔵作品を視覚によらずに鑑賞します。

特集「時間をひらく」展では、昨年度から今年度にかけて新たに当館のコレクションに加わった作品群を核に、作品の中のさまざまな時間を5つのキーワードに沿ってご紹介します。

関連イベント

小企画「美術の中のかたち一手で見る造形」

■ワークショップ こどものイベント

「テでさわる、カラダがさわる、ココロにさわる」

講師: 広瀬浩二郎氏

8月6日(土) 10:30～(約90分)

会場: アトリエ2 参加費: 400円(税込)

※詳しい情報は巻末の「こどもプログラム」欄をご覧ください。

■講演会

「人生の触り方 ―『無視覚流』の極意を求めて」

講師: 広瀬浩二郎氏

9月19日(月・祝) 15:00～(約90分)

会場: レクチャールーム 参加無料(定員100名)

兵庫県立美術館「芸術の館友の会」支援事業

特集「時間をひらく 一新収蔵品を中心に」

■学芸員によるギャラリートーク

9月3日(土) [小磯・金山記念室]

16:00～(約40分)

参加無料(要観覧券・定員なし)

■ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜日 13:00～(約45分)

エントランスに集合 参加無料(要観覧券・定員なし)

2016 県展

8月6日(土)～8月21日(日)

10:00～18:00(入場は17:30まで)

最終日の8月21日(日)は14:00で閉展します。

休館日: 8月8日(月)、8月15日(月)

会場: 兵庫県立美術館ギャラリー

入場料: 無料

夏の恒例行事である県展。今年は兵庫県立美術館ギャラリーに会場を移して開催します。絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインの6部門において、それぞれ入選した方々の力作が揃います。ご来場をお待ちしております!

次回特別展

日伊国交樹立 150 周年記念
世界遺産 ポンペイの壁画展
10月15日(土)～12月25日(日)

西暦79年、ヴェスヴィオ山の噴火に見舞われたポンペイ。世界遺産に指定されたこの街とその周辺の遺跡からは、2000年の時をこえた、色鮮やかな壁画が次々と出土しました。右の作品はこのたび日本初公開。美術ファンも考古学ファンも必見の展覧会です。



《赤ん坊のテラフォスを発見するヘラクレス》 後1世紀後半 ナポリ国立考古学博物館蔵 ©ARCHIVIO DELL'ARTE - Luciano Pedicini / fotografo

チャンネル7

高橋耕平展 一街の仮縫い、個と歩み
10月15日(土)～11月20日(日)

注目作家を紹介するシリーズ展。今回は高橋耕平(1977-)の個展を開催します。21年前の阪神・淡路大震災以後の、都市の経験や記憶をテーマに、映像、写真等から成る新作インスタレーションを発表します。



神戸市の路上・電線点検作業(2016年) ※引用資料:人と防災未来センター蔵

共催展

森山大道写真展
シャングリラ ピース
「仮想都市～増殖する断片」
8月27日(土)～9月25日(日)

会場: 当館ギャラリー棟3階

写真家、森山大道の膨大な作品群を「仮想都市」の構築という切り口で再編。神戸での撮り下ろし作品を含む写真作品、シルクスクリーン作品、カルティエ財団現代美術館で展示した映像作品などを紹介します。



関連イベント

■特別対談

森山大道×長澤章生(Akio Nagasawa Publishing)

9月4日(日) 14:00～(約1時間予定)

■ワークショップ

「シルクスクリーンで森山大道Tシャツを作ろう」

9月4日(日)、10日(土)、19日(月・祝)、25日(日)

11:00～12:00、13:00～17:00

主催: 株式会社神戸新聞総合印刷

問合せ先: 078-362-2178

※詳しい情報は主催者のホームページ (<http://daido-kobe.com>) でご確認ください。

イベント

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

来館者 1000 万人達成記念講演会

9月11日(日) 14:00～(予定)

講師: 中野京子氏(作家、ドイツ文学者)

平成14年4月に兵庫県立美術館が開館して以降、来館者が今年度1000万人を突破しました。これを記念して、講演会を開催します。『怖い絵』の作者として有名な中野京子氏を講師にお迎えして、当館館長との対談と講演を予定しております。詳細につきましては、今後決まり次第お知らせします。

ミュージアムコンサート

■美術館の調べ

8月6日(土)

トランペットとピアノ

～真夏の屋下がりコンサート～

<演奏曲目> ハイドン「トランペット協奏曲」より/ムソルグスキー「展覧会の絵」より/リスト「バラード第2番」 ほか

<出演者のひと言> 焼け付くような真夏の日差しの下で、トランペットとピアノの爽やかな音色にひとときの癒しを感じていただけたらと思います。◎山崎友加(トランペット。大阪教育大芸術専攻卒業。第18回万里の長城杯国際音楽コンクール第5位入賞。女性金管五重奏団「Ensemble Pavillon」メンバー) ◎今井彩香(ピアノ。京都市立芸術大卒業。日本クラシック音楽コンクール全国大会入選。ポーランド国立クラフ室内管弦楽団とプロコフィエフのピアノ協奏曲第1番協演)

エントランスホールにて 14:00～ 無料



山崎友加 今井彩香

■美術館の調べ

8月12日(金)

marriage sonorité
弦楽トリオの楽しみ

<演奏曲目> J.S.バッハ

「無伴奏チェロ組曲 第3番 八長調」/モーツァルト「ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ト長調 K423 第3楽章」/ベートーヴェン「弦楽三重奏曲 第2番 ト長調」

<出演者のひと言> 違う場所で勉強した3人が縁あって演奏いたします。思わぬ組み合わせの妙をお届けしたいと思います。◎森本耕太郎(チェロ。桐朋学園ディプロマコース卒業後、ベルギー王立ブリュッセル音楽院にて学ぶ。現在、関西中心にフリーで活動) ◎村上淳一郎(ヴィオラ。イタリアの2つの国際コンクール、トリエステ、フレンツェで優勝。ドイツケルン放送響/ロヴィオリスト) ◎原田潤一(ヴァイオリン。豪・クイーンズランド音楽院修士課程修了。関西中心にオケなどで活動)

エントランスホールにて 14:00～ 無料



森本耕太郎 村上淳一郎 原田潤一

■美術館の調べ

8月13日(土)

神田麻帆 ピアノリサイタル

<演奏曲目> ベートーヴェン「ピアノソナタ 第7番 作品10-3」/フランツ・リスト「スペイン狂詩曲」 ほか

<出演者のひと言> 留学先での学びを大好きなこの街で披露でき、大変うれしく思います。◎神田麻帆(ピアノ。神戸女学院大卒業。同大大学院を経て2015年10月よりウィーン国立音学大学post graduateコースに在籍)

エントランスホールにて 14:00～ 無料



神田麻帆

■美術館の調べ

8月19日(金)

ピアノ四重奏の愉しみ

～ブラハで出逢った仲間たち～

<演奏曲目> エルガー「愛の挨拶」/カサド「緑の悪魔の踊り」/フォーレ「ピアノ四重奏曲 第1番 作品15」

<出演者のひと言> 昨年に続きスペインからチェリストのエドアルド・デル・リオ・ロブレス氏をお迎えし、今回はピアノカルテットをお届けします。ブラハで出逢った仲間たちで奏でるハーモニーをお楽しみ下さい。◎木村真理子(ヴァイオリン。同志社女子大卒業。奈良県音楽芸術協会会員) ◎小間久子(ヴィオラ。相愛大学音楽学部卒業。関西を中心に活動) ◎エドアルド・デル・リオ・ロブレス(チェロ。マドリッド・ロドルホ・ハフター音楽院チェロ及び室内楽教授) ◎植田祐加里(ピアノ。大阪音楽大卒業。神戸音楽家協会会員)

エントランスホールにて 14:00～ 無料



木村真理子 小間久子



エドアルド・デル・リオ・ロブレス 植田祐加里